

「ソフトボールの聖地」への第一歩! 全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)



8月30日(金)～9月2日(月)

問▶東祥アリーナ安城(☎<75>3535)



優勝した
日本体育大学

選手達の願いが
書かれた短冊

特産品や
キーボードグッズで
安城をPR



9月2日、令和初、そして安城初のインカレ決勝戦。最終回スリーアウトの瞬間、守備についていた日本体育大学ナイン、一塁側ベンチ、観客席が歓喜に沸きました。それは同時に、安城のインカレ第1章が完結した瞬間でした。

今大会は初日から悪天候に見舞われ、試合の開催が危ぶまれる等コンディションづくりが難しかったにもかかわらず、選手達は見事なプレーを見せてくれました。観客も同様に、力いっぱい応援で選手達とともに大会を盛り上げてくれました。

今年から5年間、安城で開催されるのが決まっているこの大会。今年は様々なドラマや感動がありました。来年の第2章にはどんなドラマが待っているのでしょうか。

●大会結果

優勝 日本体育大学(東京地区代表、2年連続20回目)

準優勝 園田学園女子大学(近畿地区代表)

第3位 IPU環太平洋大学(中国地方代表)、金沢学院大学(北信越地区代表)

参加チーム、選手数 32チーム、869人

観客数 全31試合、延べ1万1500人

全国各地から安城に来て
いただきました

出場チームはもちろん、選手の家族等多くの人が全国各地から応援のため安城を訪れました。皆さんの声を聞きました。

- チームスタッフとして娘が関わっているため、山口から応援に来ました。球場はとも立派で、5年間開催することになったのも納得です。

- 大阪から娘の応援に来ました。会場が1つなので他の試合も見られて嬉しい。娘は1年生なので来年も必ず来ます!福岡から来ました。娘が4年生でインカレの応援も4回目。どのグラウンドも外野が天然芝なのがすばらしいです。

連日売切れで大人気だった
「インカレー」

